

2025年3月期 第3四半期(FY2024 3Q) 決算概要

2025年2月5日

千代田化工建設株式会社

(証券コード: 6366)

AGENDA:

1. ハイライト
2. 損益計算書
3. バランスシート
4. 受注高・受注残高

Appendix

- ・ 主なトピックス
- ・ 完成工事高・受注残高内訳
- ・ 業績推移

エンジニアリング
社会の“かなえたい”を共創する
Enriching Society through Engineering Value

1. ハイライト

業績

- ✓ 前年同期比、各段階利益において増益
国内外の手持ち案件の順調な進捗に加えて、ゴールデンパスLNGの第1系列の契約改定に伴う採算の改善が利益を押し上げ

ゴールデンパスLNG

- ✓ 2024年11月、CB&I社とCIC社* による新JV体制下でのEPC契約について、第1系列の契約改定に顧客と合意
- ✓ 残る第2系列/第3系列の契約に関して、顧客と協議を鋭意継続中

通期見通し

- ✓ 遂行中案件の着実な収益化、上期の海外完工済み案件での追加収益の計上により、業績予想を引き上げ

* Chiyoda International Corporation (千代田化工建設の米国100%子会社)

2. 損益計算書

(単位:億円)

	FY2023 3Q	FY2024 3Q	増減	FY2024 修正後 ^{*2} 通期予想	進捗率	(参考) 修正前 通期予想
完成工事高	3,975	3,461	△514	4,600	75%	4,500
完成工事総利益	286	¹ 328	42	395	83%	330
完成工事総利益率	7.2%	9.5%	+2.3pt	8.6%	-	7.3%
販売費・一般管理費	△108	△130	△22	△175	74%	△160
営業利益	178	198	20	220	90%	170
営業利益率	4.5%	5.7%	+1.2pt	4.8%	-	3.8%
経常利益	236	251	14	275	91%	200
純利益 ^{*1}	157	209	52	220	95%	150
為替レート(円/米ドル)	142	158		150		150

¹ 分野別 内訳	分野	FY2023 3Q	FY2024 3Q
	エネルギー	132	224
	地球環境	155	105
	合計	286	328

*1 親会社株主に帰属する四半期純利益

*2 2025年2月5日に適時開示

3. バランスシート

(単位: 億円)

	FY2023 4Q	FY2024 3Q	増減		FY2023 4Q	FY2024 3Q	増減
流動資産	4,044	4,236	192	流動負債	4,122	3,904	△218
現金・預金等	1,021	1,607	586	営業負債*3	3,225	3,208	△17
営業資産*1	465	384	△81	工事損失引当金	365	280	△85
JV持分資産*2	1,470	1,586	116	固定負債	87	282	195
固定資産	226	221	△5	純資産	61	271	210
総資産	4,270	4,456	187	負債・純資産	4,270	4,456	187
				自己資本	49	252	204
				自己資本比率	1.1%	5.7%	+4.5pt

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債（未成工事受入金）

4. 受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2024 3Q 受注高	FY2024 3Q 受注残高
エネルギー分野	649	6,044
地球環境分野	774	1,974
合計	1,423	8,018

【受注残高 主要案件】

	1,000億円 以上	500億円 以上	50億円 以上
エネルギー分野	カタール・NFE LNG	米国・ゴールデンパスLNG	---
地球環境分野	---	インドネシア銅製錬	バイオ医薬品原薬製造設備 先端素材 生産設備 CO ₂ →CO 変換プラント 医薬品製造設備*

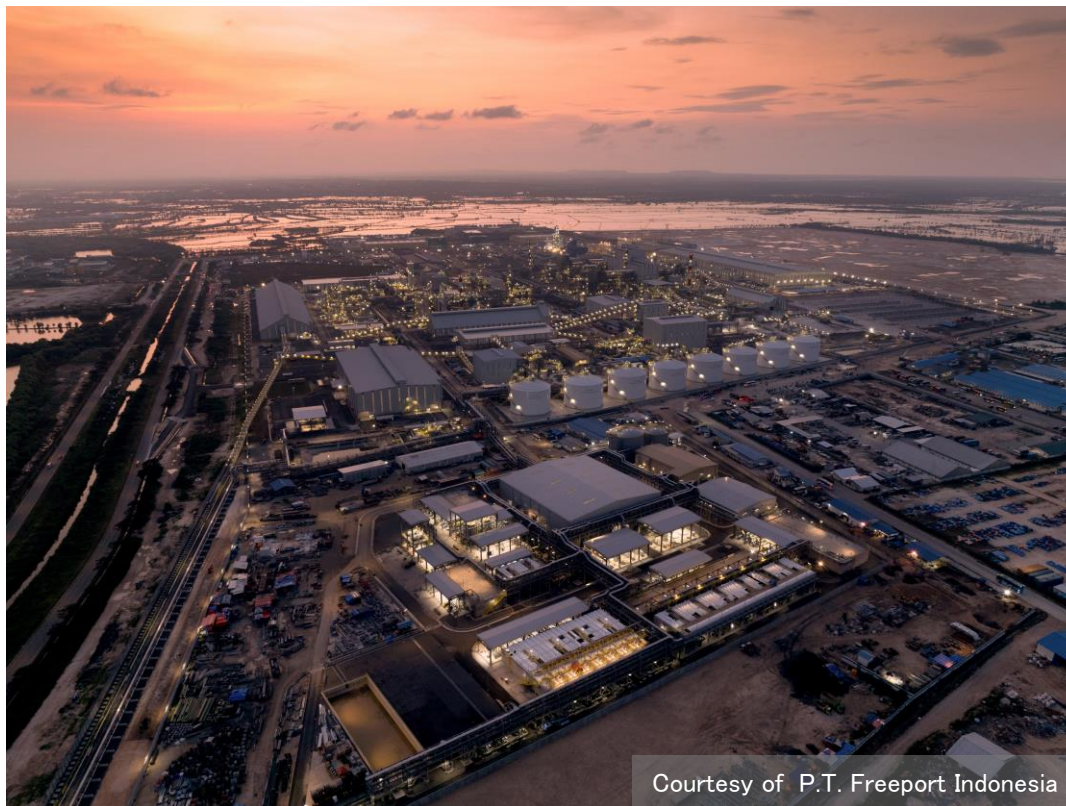
* 国内グループ会社受注案件

Appendix

主なトピックス

インドネシア銅製錬 2024年11月、完工

- ✓ 単一ラインとして世界最大級の生産能力を持つ銅製錬所
当社グループが2021年に単独でEPC業務を一括受注し、遂行

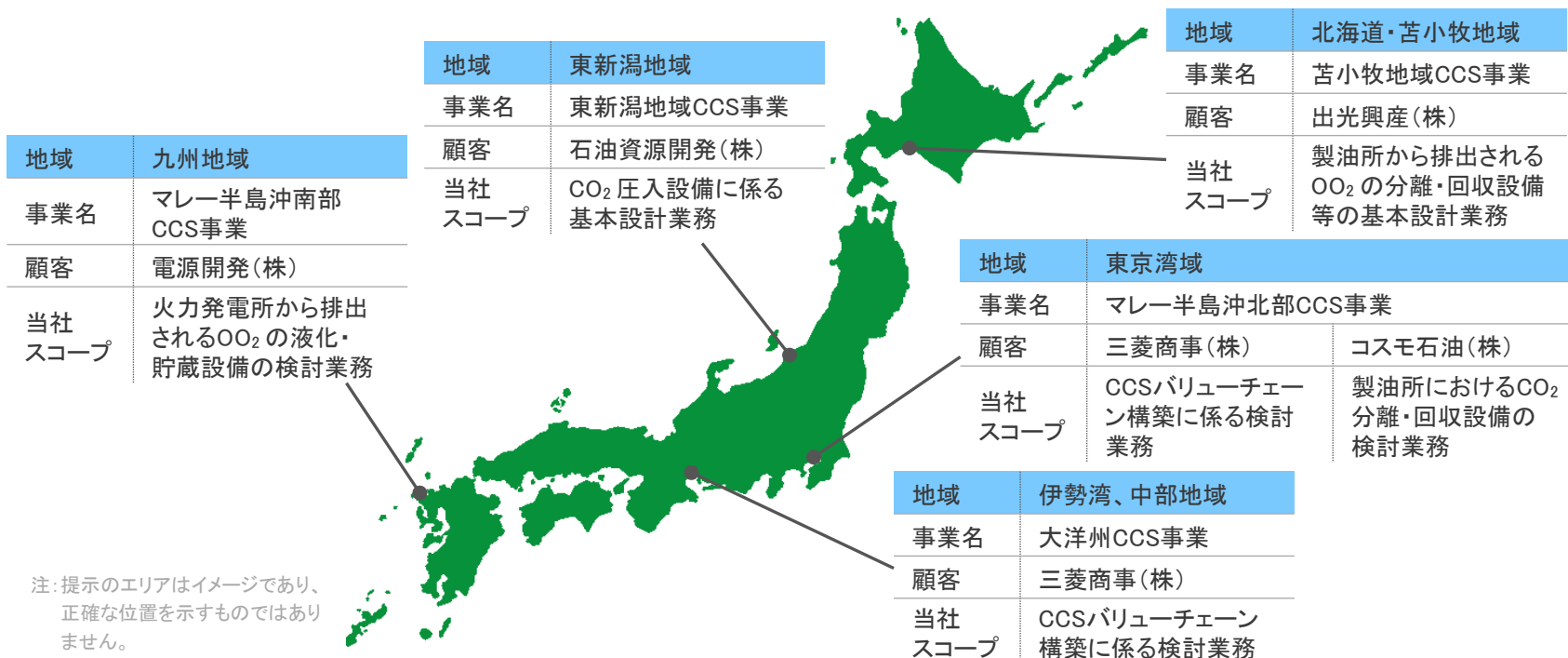


Courtesy of P.T. Freeport Indonesia

主なトピックス

JOGMEC「先進的CCS^{*1}事業に係る設計作業等」^{*2}採択事業の検討・基本設計業務に多数参画

- ✓ 当社のLNGプラント建設で培ったガスの低温液化技術やスケールアップの知見を活かして、カーボンニュートラルの実現に向けて、CCSの早期の事業化に貢献



*1 Carbon dioxide Capture and Storageの略。二酸化炭素回収・貯留

*2 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)による、2030年までのCCS事業開始に向けた事業環境を整備するため、模範となる先進性のあるプロジェクトを支援する枠組み。2023年度に実施された事業性調査に加えて、CCSバリューチェーン全体の設計作業等を行うもの

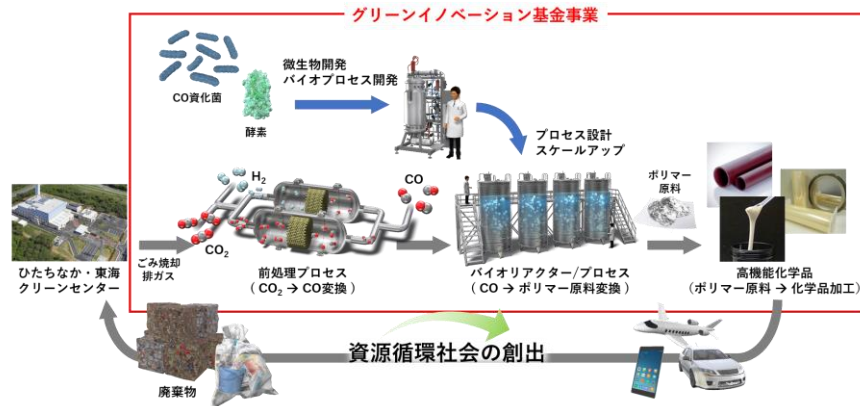
主なトピックス

◆ CO₂ → CO変換プラント(中型試験機) EPC業務を受注

- ✓ 本プラント建設の基本設計業務に続いてEPCを受注 案件の初期段階から顧客に伴走し、社会価値を共創
- ✓ カーボンニュートラル社会の実現に向けて、CCUS*1の社会実装に貢献

顧客	積水化学工業(株)
当社スコープ	EPC(設計・調達・建設)
建設地	茨城県ひたちなか市

※ 顧客がNEDO*2のGI基金事業*3に採択され実施する事業



「バイオものづくり技術によるCO₂を原料とした高付加価値化学品の製品化」の全体像 (積水化学工業(株)提供)

◆ 固体電解質大型パイロット装置 基本設計業務を受注

- ✓ 全固体電池の実用化に向けて、その基幹材料である固体電解質の量産技術確立に貢献

顧客	出光興産(株)
当社スコープ	大型パイロット装置の基本設計
建設地	千葉県市原市



固体電解質 (出光興産(株)提供)

※ 顧客がNEDOのGI基金事業に採択され実施する事業

◆ JFEエンジニアリング(株)との協業の検討開始

- ✓ 今後活発な投資が見込まれる国内の脱炭素分野を中心に、案件単位で FS*4/FEED*5 業務、EPC業務を共同で受注・遂行することを目的とする
- ✓ エンジニアリング業界全体のリソースに限りがある中、両社の保有するリソースと知見を効果的に活用することを目指す



*1 Carbon dioxide Capture, Utilization and Storageの略。CO₂の回収・貯留・有効利用

*2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

*3 グリーンイノベーション基金事業

*4 Feasibility Studyの略。概念設計に基づき行われる事業可能性検討

*5 Front End Engineering Designの略。概念設計・FSの後に行われる基本設計

完成工事高・受注残高内訳

(単位: 億円)

FY2024 3Q 完成工事高

【分野】

エネルギー	2,197	63%
■ LNG・その他ガス関係	1,958	57%
■ 石油・石油化学	239	7%
地球環境	1,263	37%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	225	7%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	1,038	30%
合計	3,461	100%

【地域】

海外	2,749	79%
■ 中近東・アフリカ	1,646	48%
■ 北中南米	137	4%
■ アジア・オセアニア	946	27%
■ その他海外	20	1%
■ 国内	712	21%
合計	3,461	100%

FY2024 3Q 受注残高

【分野】

エネルギー	6,044	75%
■ LNG・その他ガス関係	5,714	71%
■ 石油・石油化学	331	4%
地球環境	1,974	25%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	969	12%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	1,005	13%
合計	8,018	100%

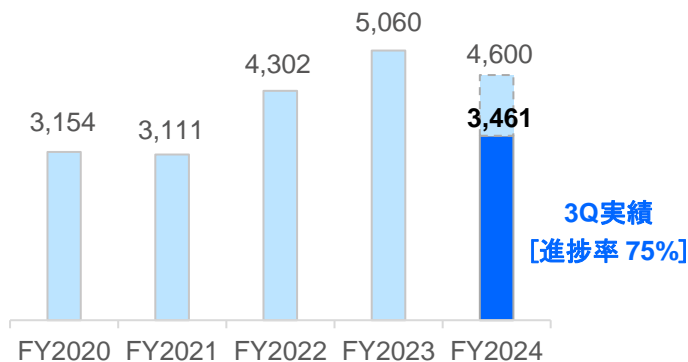
【地域】

海外	6,285	78%
■ 中近東・アフリカ	4,659	58%
■ 北中南米	864	11%
■ アジア・オセアニア	746	9%
■ その他海外	16	0%
■ 国内	1,733	22%
合計	8,018	100%

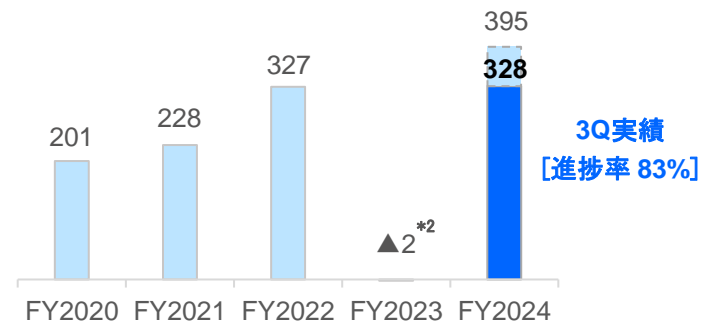
業績推移

(単位:億円)

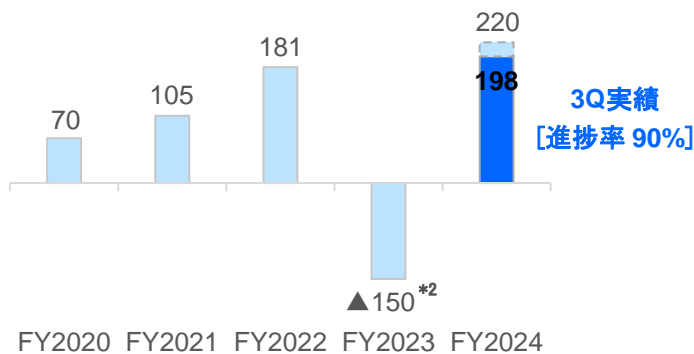
完成工事高



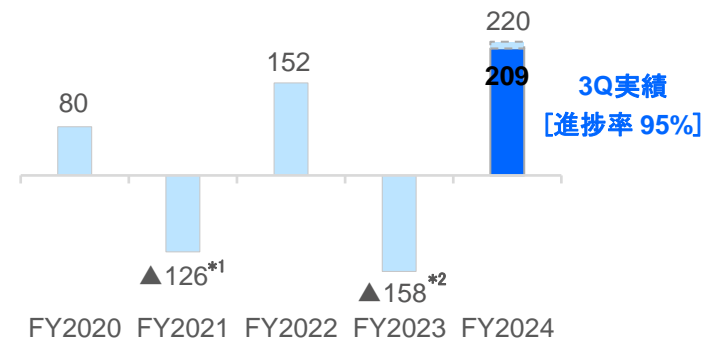
完成工事総利益



営業利益



純利益



*1 特別損失 ▲204億円含む(顧客との和解等によるプロジェクト関連損失)

*2 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用▲370億円含む

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

E-Mail : ir@chiyodacorp.com

